

平成 20 年 11 月 21 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之

(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2008 年 10 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2008 年 10 月度の月次総売上高並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人である株式会社ホテルマネージメントジャパンから開示について同意を受けることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル／項目		10 月度	対前年 同月増減 注7)	(参考) 累計 注8)	(参考) 対前年 累計増減 注9)
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	79.8%	0.5%	77.6%	-4.3%
	ADR (円)	15,902	508	15,752	504
	RevPAR (円)	12,686	480	12,219	265
	売上高 (百万円)	562	-52	1,041	-117
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	93.0%	5.1%	92.0%	5.7%
	ADR (円)	19,766	565	19,016	228
	RevPAR (円)	18,385	1,512	17,503	1,276
	売上高 (百万円)	650	26	1,207	22
なんばオリエンタルホテル	稼働率	88.2%	-3.1%	84.6%	-8.6%
	ADR (円)	10,665	567	10,642	493
	RevPAR (円)	9,411	193	9,000	-455
	売上高 (百万円)	164	0	318	-14
ホテル日航アリビラ	稼働率	90.9%	0.6%	92.8%	0.6%
	ADR (円)	20,821	1,543	24,070	1,074
	RevPAR (円)	18,920	1,511	22,330	1,130
	売上高 (百万円)	467	17	999	18
オリエンタルホテル広島 注 6)	稼働率	80.5%	7.4%	79.5%	6.7%
	ADR (円)	8,838	72	8,947	284
	RevPAR (円)	7,116	704	7,109	804
	売上高 (百万円)	205	21	372	26
上記 5 ホテル合計	売上高 (百万円)	2,049	12	3,937	-64.4

10月度の実績に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、個人向け商品が好調に推移したため、稼働率、ADR、売上共に前年を上回りました。料飲部門では、レストラン部門は前年同月と同程度の売上だったものの、婚礼宴会が前年後期に広告宣伝費を削減したため一時的に新規来館者数が減少し、前年度比で受注件数が減少。料飲部門全体でも売上が前年を下回りました。その結果、ホテルの総売上は、前年同月を約52百万円下回りました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門ではTDR25周年イベントによる集客効果が持続する中で、ADR及び稼働率が前年同月比で上昇し、結果的に部門売上が前年を上回りました。レストラン部門においても、朝食が順調に推移したこと等から前年同月の売上を上回りました。宴会部門では婚礼宴会は前年を下回りましたが、一般宴会は堅調に推移しました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約26百万円上回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門は、国内団体客の取り込み強化等により、前年同月比で稼働率は低下したものの、ADRを上げ、部門売上は前年を上回りました。尚、ホテル総売上は前年同月でほぼ横ばいでした。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、入域者数が好調に推移する中、稼働率、ADRとも前年同月を上回り、売上も前年を上回りました。料飲部門は、レストラン部門が堅調に推移したものの、宴会部門が対前年を下回ったため、部門売上は前年を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約17百万円上回りました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、マーケット環境が堅調に推移する中、積極的なエージェントセールスが奏功し、稼働率、ADRとも前年同月比を上回ったため、売上も前年を上回りました。レストラン部門においては、前年を下回りましたが、宴会部門においては、9月初旬に竣工した3・4F宴会場のリニューアル効果が高く、前年を上回りました。その結果、ホテルの総売上は前年同月を約21百万円上回りました。

注 1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。

注 2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合があります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

注 3) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。

注 4) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。

注 5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

注 6) オリエンタルホテル広島については平成19年10月1日取得のため、対前年同月及び累計増減の算出基礎となる平成19年9月の数値は、未監査です。

注 7) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。

注 8) 累計とは当期期首から当該月までの累計値を記載しています。

注 9) 対前年累計増減とは、当期期首から当該月までの累計値と前期期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。

以上

*本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.com/>